第四回援助効果向上に係るハイレベル・フォーラム(釜山HLF4)の準備状況について (第16回DAC援助効果作業部会の報告)

平成22年12月6日

外務省国際協力局

1. **開催日**：平成22年10月27日(水)～10月28日(木) 本会合
平成22年10月29日(金) 執行委員会
2. **会合目的**：2011年釜山「援助効果に関する第四回ハイレベルフォーラム(HLF4)」の目的、主要議題及び会合開催準備スケジュールに関する協議。

3. 議論のポイント

(1) HLF4のテーマ ～新しい開発の文脈における援助効果の向上～

パリ宣言及びアクラ行動計画に基づく「援助効果」の原則の継続を焦点とすべきか、新しい援助構造や開発資金構造の変化を踏まえた「開発効果」を議論の焦点とすべきかが主な争点となった。議長は援助効果を引き続き中心課題としつつも新たな開発の文脈に位置付けるという折衷案とする総括を行った。

(2) アジェンダ決定のための基本的考え方

2010年7月までに以下の考え方を基本としてアジェンダが決定されることとなった。

- ・ エビデンスに基づき、パリ宣言の遂行が援助効果に果たした結果と原因を検証する。
- ・ 国や地域のコンテクストを重視した議論を形成する(紛争と脆弱性を含む)。
- ・ 新しい援助構造に対応するため、新興ドナー、民間セクター、市民社会及び議会等の参画を確保する。

(3) 政治レベルのコミットメントと成果文書

HLF4における政治レベルのコミットメントを確実なものとし、未来志向型かつ結果重視型の今後の援助の方向性を成果文書としてまとめることが合意された。

(4) 会議規模及び参加者

会議規模は前回のアクラHLF3と同程度の1,700名の参加が想定されている。

4. 今後の予定

- (1) 平成22年11月：ソウル「進化するグローバル援助構造に関するワークショップ」
- (2) 平成22年12月末：HLF4のウェブ上テーマ募集締め切り
(<http://www.surveymonkey.com/s/hlf4topics>)
- (3) 平成23年4-5月：パリ宣言評価フェーズ2の結果公表
- (4) 平成23年7月：2011年パリ宣言モニタリングの結果公表
- (5) 平成23年7月：DAC援助効果作業部会 第17回本会合・執行委員会(於パリ)
- (6) 平成23年11月：HLF4 (於釜山) (了)